

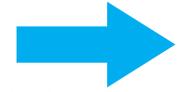
(参考)

基盤となるインフラの復旧状況

復興道路・復興支援道路の整備①

○ 発災時の三陸自動車道の未着手区間等が、「復興道路」(三陸沿岸道路)として新規事業化され、**宮城県内の復興道路は、令和3年3月6日、126km全線開通。**
令和3年12月18日には復興道路全体の359kmが全線開通

東日本大震災前



全線開通後



**復興道路で
大幅に時間短縮**

宮城県
仙台市 ~ 青森県
八戸市

3時間20分短縮

宮城県 ~ 岩手県
仙台市 ~ 宮古市

2時間短縮

宮城県 ~ 宮城県
仙台市 ~ 気仙沼市

1時間短縮



※地図及び数値については国土交通省公表資料から引用

復興道路・復興支援道路の整備②

- **宮城県内の復興道路**は、令和3年3月6日、**126km全線開通**
- 県北の東西交通軸を強化するとともに、道路網を多重化する**復興支援道路**
「みやぎ県北高速幹線道路」も、令和3年12月17日に19km全線開通

【県内復興道路・復興支援道路の概要】



- ・気仙沼港
～唐桑半島
7.3km R3年3月開通
- ・気仙沼中央
～気仙沼港
1.7km R2.2開通
- ・大谷海岸
～気仙沼中央
7.1km H30.3開通
- ・本吉津谷
～大谷海岸
4.0km H31.2開通
- ・小泉海岸
～本吉津谷
2.0km R2.11開通
- ・歌津
～小泉海岸
10.0km H31.2開通

【進捗状況（令和3年12月18日時点）】

路線名	計画延長	開通延長	うち
			震災後開通
三陸沿岸道路	359km	359km	183km
うち、宮城県	126km	126km	52km
【宮城県】 みやぎ県北高速 幹線道路※	19km	19km	19km

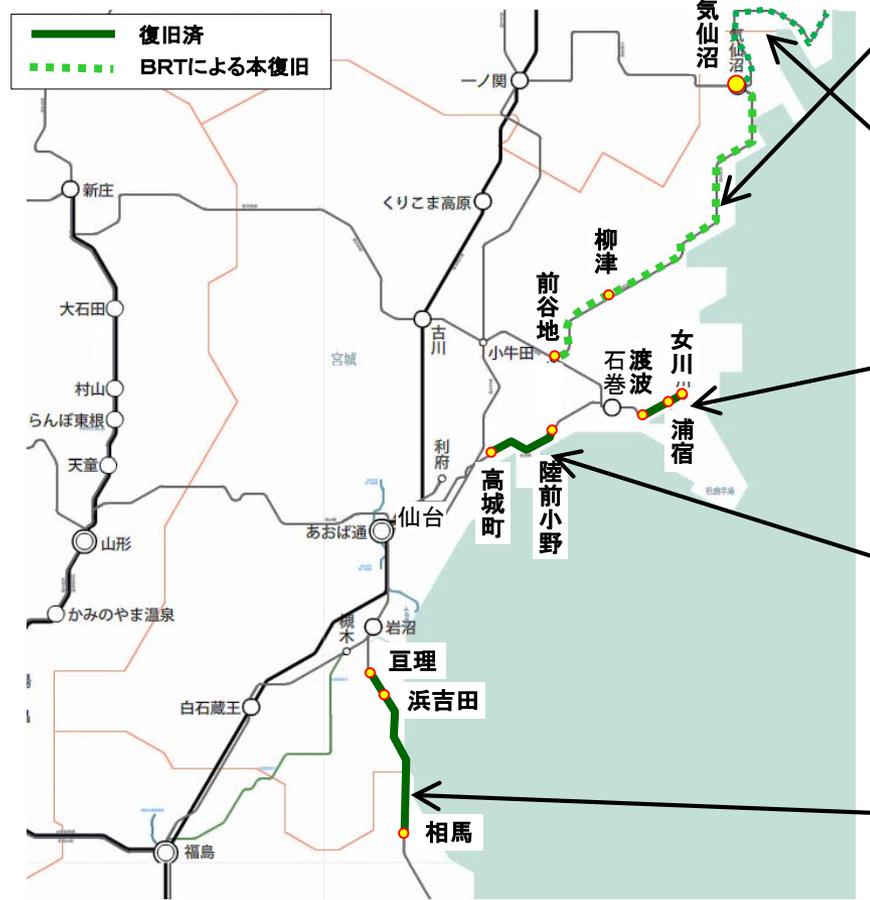
※三陸沿岸道路「登米IC」～東北自動車道「築館IC」

南三陸海岸IC(H29.3開通)

鉄道の復旧

- **被災した県内JR5路線は、平成28年12月10日をもって全復旧**
- **大きな被害を受けた沿岸部の2路線(気仙沼線・大船渡線)については、平成28年3月(気仙沼線)、平成27年12月(大船渡線)にBRT(バス高速輸送システム)による本復旧を決定。運行便数の増便、新駅設置、専用道の整備が進み、おおむね完成**

【県内沿岸部の不通区間の復旧の経過】



①JR気仙沼線(気仙沼～前谷地間、75.2km)

- ・ BRTによる仮復旧を平成24年12月から実施
- ・ 気仙沼～柳津間については、時間短縮や定時性確保のため、約9割にあたる48kmを専用道化し、一部区間において自動運転バスを実用化

②JR大船渡線(気仙沼～盛間、43.7km)※一部岩手県

- ・ BRTによる仮復旧を平成24年12月から実施。
- ・ 約1.9kmを専用道化のうえで、平成25年3月2日に運行開始

③JR石巻線(渡波～女川間、8.8km)

- ・ 渡波～浦宿間が平成25年3月に運行再開
- ・ **平成27年3月21日に全線開通**



④JR仙石線(高城町～陸前小野間、11.7km)

- ・ 東名・野蒜駅周辺を高台に移設のうえ、**平成27年5月30日に全線開通**。また、仙石線と東北本線の接続線(仙石東北ライン)についても、同日運転開始
- (なお、被災地最大の集団移転地である蛇田地区に隣接する「石巻あゆみ野駅」が平成28年3月26日に開業)

⑤JR常磐線(亶理～相馬間、27.6km)

- ・ 亶理～浜吉田間は平成25年3月に運行再開
- ・ 浜吉田～相馬間を内陸へ移設し、**平成28年12月10日に運行再開** ※令和2年3月14日常磐線全線開通

港湾・空港の復旧

○ 港湾施設の復旧状況

- ▶ 仙台塩釜港(仙台港区、塩釜港区、松島港区、石巻港区)の復旧工事により、平成27年3月末時点で73岸壁全てが利用可能に
- ▶ 仙台港区では、貨物取扱量(令和2年1月～令和2年12月)は、震災前の105%
- ▶ 石巻港区では、貨物取扱量が(令和2年1月～令和2年12月)は、震災前の83%

震災時



現在



○ 空港の復旧状況

- ▶ 仙台空港の災害復旧工事は平成25年11月に完了。国内定期便が23年7月、国際定期便が同年9月に再開
- ▶ 平成31年(1月～令和元年12月)乗降客数は、国際線で39万人(震災前比145%)、国内線で346万人(震災前比136%)まで回復
- ▶ 平成28年4月に全国で初めて民営化(コンセッション)、東急グループを中心とした仙台国際空港(株)が運営

震災時

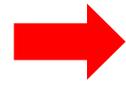


現在



海岸堤防（防潮堤）の整備

- 数十年～百数十年に一度の大きさの津波(L1津波)には**海岸堤防により防御**
- 東日本大震災時のような、数百年～千年に一度の大きさの津波(L2津波)には**住民の避難**を軸に、土地利用・避難施設・防災施設なども加えた「**多重防御**」(減災)の考えを導入
- 県内の海岸線延長830kmのうち、海岸堤防の整備必要延長は232.8km(28%)。この復旧・復興事業のうち、100%が着工、98%が完成(令和5年1月末時点)



※海岸線延長は830km

※地図及び数値（*以外）については国土交通省、数値（*）については宮城県公表資料から引用